

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 2019年1月18日

東京都作業部会確認年月日 2019年1月29日

事業名 トランスポートデポ、ハブの整備 デポ工事費用（建築・設備）

案件名 自家用給油所に係る屋外燃料貯蔵タンクの納入

確認の視点		東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> ● 本設計は輸送デポにおける管理施設等の設計の経費負担であることから、平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであることが確認できた。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> ● 大枠の合意において、組織委員会が輸送及びオペレーション等必要な経費を負担し、業務全般を担うこととなっている。 ● また、組織委員会はIOCやIF等と協議して整備計画をまとめているため、確実かつ速やかに行うために一括して執行することが効率的、効果的である。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 開催都市契約大会運営要件で求められている輸送デポの管理施設等の調達に係る内容であり、不可欠な事業である。 ● 大会時にバス給油可能な既存施設が不足しているため、仮設の給油所を整備する必要がある。 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防法の特例特許要件に適合する燃料タンクは、現時点では1社のみであり、この会社からの見積書に基づき、公表されている定価表以下の金額であることを確認した。 ● 燃料タンクは、リース・レンタルが出来ないため、購入するが、大会後の二次利用に向けた検討に努めること。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算内に収まる。 ● 組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された仕様書、内訳書等により包括的に確認し、納得性があると判断した。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> ● 大枠の合意において、公費負担とされた輸送デポの管理施設等の費用であり、公費負担の対象として適切であると確認した。 ● V3 予算内であることを確認した。 	

* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。